

月例経済報告（2022年6月）

● 月例経済報告（6/20）

<p>基調判断</p>	<p>(6月) <u>景気は、持ち直しの動きがみられる。</u> 感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、<u>ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中で、原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。</u></p> <p>(5月) 景気は、持ち直しの動きがみられる。 感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、中国における感染再拡大の影響やウクライナ情勢の長期化などが懸念される中で、供給面での制約や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。</p>
<p>個人消費</p>	<p>(6月) <u>持ち直しの動きがみられる。</u></p> <div data-bbox="671 533 1362 929"> </div> <p>(5月) このところ持ち直しの動きがみられる。</p>
<p>設備投資</p>	<p>(6月) <u>持ち直しの動きがみられる。</u></p> <div data-bbox="671 943 1362 1337"> </div> <p>(5月) 持ち直しの動きがみられる。</p>
<p>住宅建設</p>	<p>(6月) <u>底堅い動きとなっている。</u></p> <div data-bbox="671 1350 1362 1744"> </div> <p>(5月) おおむね横ばいとなっている。</p>
<p>雇用情勢</p>	<p>(6月) <u>持ち直しの動きがみられる。</u></p> <div data-bbox="671 1758 1362 2136"> </div> <p>(5月) 持ち直しの動きがみられる。</p>

<p>生産</p>	<p>(6月) 持ち直しの動きに足踏み がみられる。</p> <p>(5月) 持ち直しの動きがみられる。</p>	
<p>輸出</p>	<p>(6月) おおむね横ばいとなっ ている。</p> <p>(5月) おおむね横ばいとなっ ている。</p>	
<p>国内企業物価</p>	<p>(6月) 上昇している。</p> <p>(5月) 上昇している。</p>	
<p>消費者物価</p>	<p>(6月) このところ上昇している。</p> <p>(5月) このところ上昇している。</p>	
<p>海外経済</p>	<p>(6月) 世界の景気は、一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直している。 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる ほか、中国で経済活動抑制の影響が残る中で、原材料価格の上昇や供給面での制約等による下振れリス クに留意する必要がある。また、世界的に金融政策正常化が進む中で、金融資本市場の変動等による下 振れリスクに留意する必要がある。</p> <p>(5月) 世界の景気は、一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直している。 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、中国での感染の再拡大やウクライナ情勢等 による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振 れリスクに留意する必要がある。また、感染の動向等を注視する必要がある。</p>	